

テーマ：『 身近な自然との関わり合いを通して子どもの感性を育む環境教育 』

伊勢原市立 石田小学校

Tel. 0463-92 - 8111 担 当 鳥海 功

者：



■実践内容：

石田小学校では、児童環境委員会が中心になり、水辺の広場緑化計画を考え、提案・修正・再度提案という経過で、芝生化計画が進められてきた。この場所は、以前、人の集まりもなく、行事での自転車置き場に使用されていた。そこに、開校十周年記念として、水辺の広場(ビオトープ)が作られ、子どもたちにも人気の場所となり始めた。ビオトープに地域の小魚を放流したり、観察したりしているうちに、よりよい環境をめざそうということに意識が向けられ、芝生化が実現した。また、その取り組みを地域・全校に広めようと努力した。

■実践成果：

地域の協力者や花壇ボランティア・PTA の協力のもと、土作り・芝生の貼り付け・日常の水やり・雑草の除去等メンテナンスが軌道に乗った。児童環境委員会・花壇ボランティア子ども組が行ってきた。「芝生オープニングセレモニー」も児童が企画・運営を行い、盛大に開催することができた。「芝生のオープニング」以来、ほぼ毎日、風の丘に登り、駆け下りたり、転がったりする子どもの様子が見られるようになった。今後も、この場所を使い、ミニ集会・観察会・読書会・理科学習の場など表現の場としての活用できるものと、楽しみにしている。

■実践ポイント：

児童の主體的・自主的活動を大切にしながら、環境に興味をもち、働きかけ、学び合いが進むよう、指導・助言を行ってきた。